

超広角走査レーザー検眼鏡

Daytona



 **optos**® Ophthalmology

無散瞳
撮影

超広角走査レーザー検眼鏡 **Optos Daytona**

画角 200 度、眼底の 80%以上の領域を無散瞳、非侵襲で撮影します。

Daytona の主な特長

コンパクト

卓上型のコンパクトな筐体なので設置場所を選びません。

シンプル

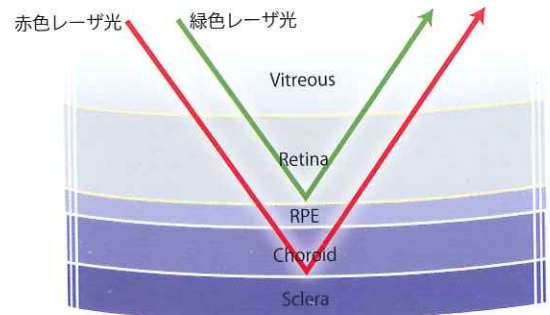
患者の眼の位置を合わせ操作タブレットをタップすれば撮影完了です。

迅速

撮影は 1 回、約 0.4 秒で完了。患者の負担や苦痛を大幅に軽減します。

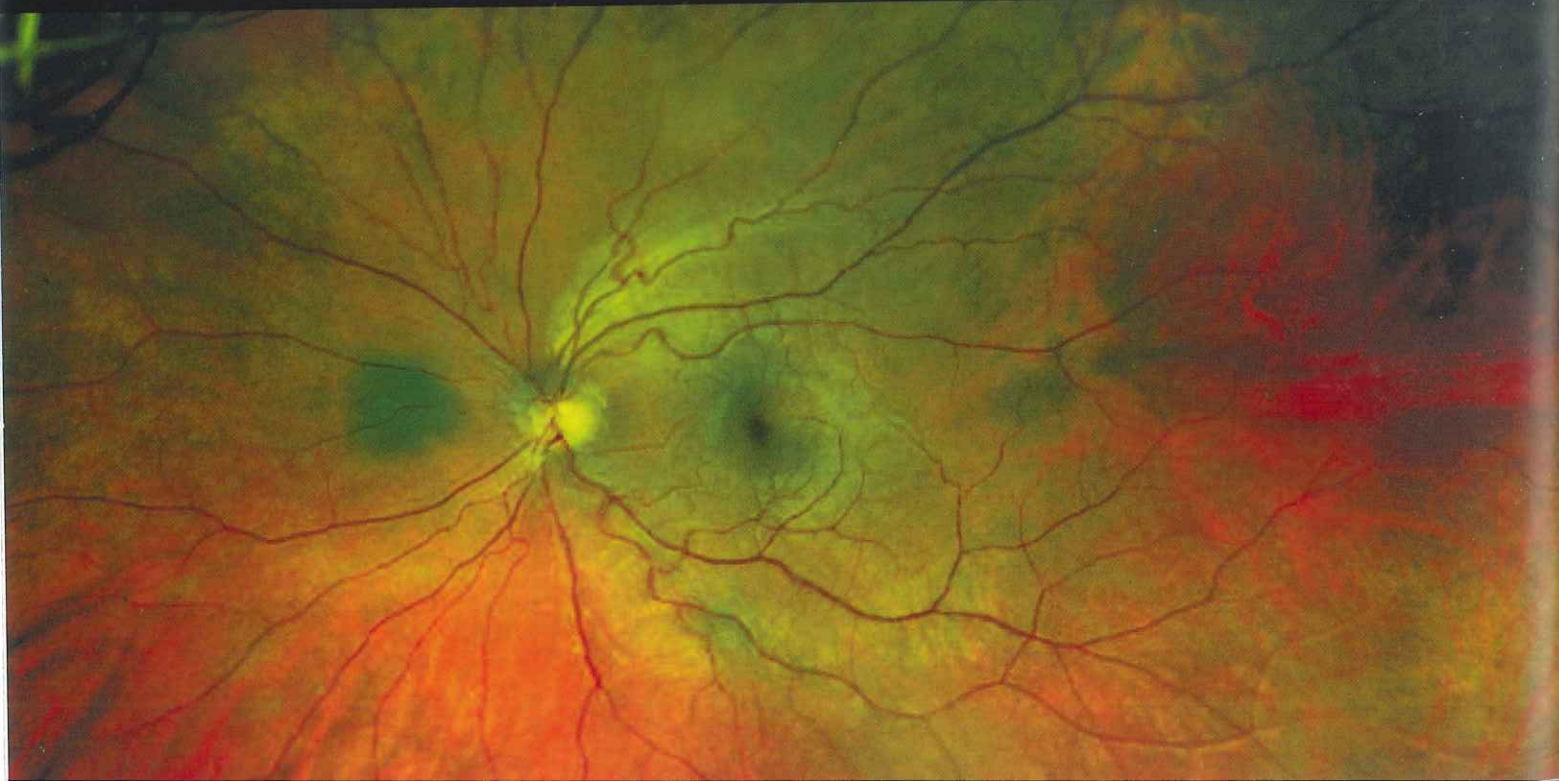
深達度の違い

赤色レーザー光は脈絡膜層で、緑色レーザー光は網膜層で反射されますので、それぞれの画像を確認することで病変の部位を特定できます。



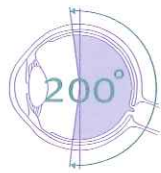
Optomap plus

赤色レーザー光、緑色レーザー光それぞれで取得した画像と、それらを合成した疑似カラー画像を個別に表示できます。レーザー光の波長により深達度が異なるので、病変の部位を判別できます。

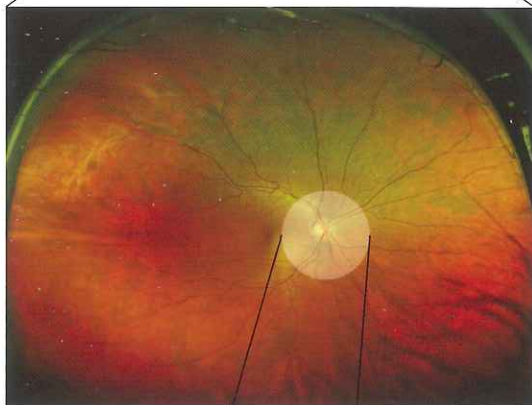


観察範囲の違い

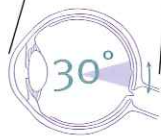
一回の撮影で画角 200 度の範囲を撮影しますので、従来の検査機器では観察困難な眼底周縁部の病変も見逃さずに捉えることが可能です。



Daytona の撮影範囲



倒像鏡の観察範囲



シンプル操作

眼の位置に応じて固視標の色が変化します。固視標が緑色になるように眼の位置を調整し、タブレットをタッチして撮影します。



離れすぎ



適切



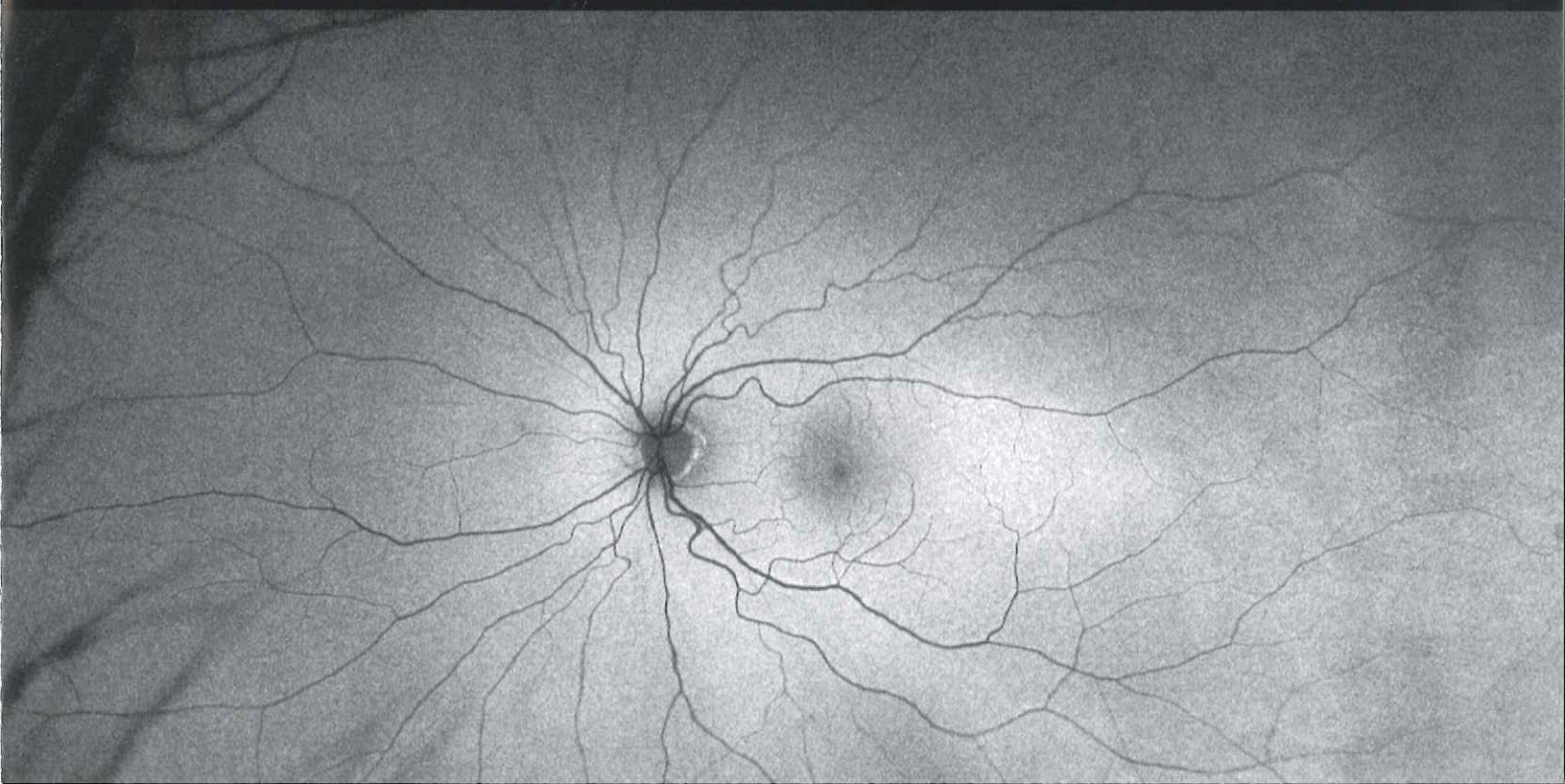
近すぎ



Optomap af

緑色レーザ光により、眼底の自発蛍光画像を超広角で撮影できます。

ドレーゼンの原因となるリポフスチンの蓄積されている様子を画像として捉え、AMD 等の診断をより確実なものにします。



超広角走査レーザー検眼鏡 Optos Daytona

装置仕様	スキャン画角	200度
	レーザー光源	赤色：633 nm
		緑色：532 nm
	分解能	11~16 μm (X方向)
13~16 μm (Y方向)		
寸法・質量	スキャンヘッド	W : 440 mm D : 500 mm H : 795 mm 27 kg
	タブレットPC	W : 285 mm D : 235 mm H : 45 mm 1.2 kg
電気定格	電圧	単相100 V
	周波数	50/60 Hz
	消費電力	300 VA

- > 本仕様およびデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。
- > カタログの記載内容：2012年12月現在



 **optos® Ophthalmology**

薬事名称	パノラミック オフサルモスコープ デイトナ
薬事認証番号	第224A18Z100001000号
製造業者	Optos plc

 **中央産業貿易株式会社**
<http://www.chuosangio.co.jp/>

本社 〒662-0977 兵庫県西宮市神楽町4-7 Tel.0798-26-7889 Fax.0798-26-7858
 東京営業所 〒110-0005 東京都台東区上野1-10-8 Tel.03-5812-0825 Fax.03-5812-0824
 名古屋営業所 〒456-0021 愛知県名古屋市中区熱田区夜寒町4-10 Tel.052-682-5355 Fax.052-682-7277